

2025年8月12日

各位

会社名 シンバイオ製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 吉田 文紀
(コード番号: 4582)
問合せ先 IR室 (TEL.03-5472-1125)

**プリンシドフォビルの悪性脳腫瘍（膠芽腫）に対する研究成果が
2025年11月開催の米国・神経腫瘍学会での発表演題として採択**

シンバイオ製薬株式会社は、注射剤プリンシドフォビル (brincidofovir, IV BCV) の悪性脳腫瘍（膠芽腫）に対する治療の可能性を探る研究成果が、第30回神経腫瘍学会（Society for Neuro-Oncology: SNO、2025年11月19日～23日 米国ホノルル開催）に採択されたことをお知らせします。

発表者の波佐間正聡執行役員兼チーフサイエンティフィックオフィサーのコメントです。

「標準治療に抵抗性を示す悪性脳腫瘍の患者さんに対しても、IV BCVで治療できる可能性を4月の米国癌学会で発表したことに続いて、今回、標準治療とIV BCVを併用することにより、その効果がより向上する可能性が示されました。この知見が臨床試験への道を切り開くものと期待しています。」

当社が2021年からカリフォルニア大学サンフランシスコ校(UCSF)と進めてきた悪性脳腫瘍に関する研究の成果を、このたび権威ある米国神経腫瘍学会において発表できることは、固形がんへの新たな展開の可能性を示すものであり、今後のがん治療への取組みの布石となります。

以上

採択演題の概要

- 演題タイトル： *In vivo* characterization of preclinical efficacy of brincidofovir against glioblastoma
(和訳：膠芽腫に対する布林シドフォビルの生体における前臨床効果の特性評価)
- 発表者： Sol Beccari, Tomoko Ozawa, David R. Raleigh, et al.
- 発表番号： EXTH-54

神経腫瘍学会（SNO）について

1996年に設立されたSNOは、神経腫瘍の医学専門家、研究者、医療従事者、製薬業界の関係者が集まる、神経腫瘍とその治療法の研究で世界をリードする権威ある学会のひとつです。同学会は、研究成果を共有する重要な場であると同時に、その活動は神経腫瘍学における大きな推進力となり、次世代の神経腫瘍学の科学者や臨床医に活力を与えています。

悪性脳腫瘍（膠芽腫）とは

脳の神経膠細胞から発生する脳腫瘍を神経膠腫（グリオーマ）と呼びます。その中でも進行が非常に速く、予後が悪いタイプがあります。最も悪性度が高いグレード4の膠芽腫では、診断後の中央生存期間は2か月から18か月と短く、5年生存率は5%以下です。なお、5年生存率が50%以下のがんは「難治性がん」と分類されます。その中の一つである膠芽腫は、国内で年間約2,000人、欧米では約21,000人の患者が発症すると推定されています。

現在の標準療法では、放射線照射との併用でテモゾロミドが使用されています。また、血管新生抑制薬であるベバシズマブ（商品名：アバスチン®）も用いられます。しかし、およそ半数の患者は標準療法であるテモゾロミドに対して耐性を示します。この耐性を克服する治療法はまだ確立されておらず、新しい薬剤の開発が強く望まれています。